

6月6日：材料に乏しく商いは閑散

6月5日は市場を支える材料に乏しく横ばいで推移し、ホーチミン市場のVN指数は0.25ポイント高の951.41ポイントで引けたが、出来高は4週間前の水準に減少した。

176銘柄が上昇したのに対し111銘柄が下落し、出来高は1億3,150万株、売買代金は2.6兆ドンと前日に比べ19%減少した。

前日から続伸した大型株が市場を下支えし、VN30銘柄の中では19銘柄が上昇、10銘柄が下落した。

不動産コングロマリットのVICが1.1%高、115,900ドンの日中高値を付けたほか、乳業大手のVNMが0.3%高の127,500ドン、飲料大手のSABが0.37%高の274,000ドン、等の上昇が目立った。

多くの証券会社は、今日の上昇はテクニカルな側面の現れと見方は一致している。

バオベト証券によると、市場を下支えする好材料があればVN指数は958-963ポイントの抵抗線に向かって上昇するとみている。

しかし、海外投資家がアメリカと中国の貿易戦争の行方を懸念しているいので、短期的なリスクはくすぶっているようだ。

VNダイレクト証券のレポートの引用であるが、Vietnam News社によるとベトナムの輸出と鉱工業生産はここ数か月増加したが、これは貿易戦争の短期的な恩恵と考えられるとのことである。

加えて、中国からベトナムへの外国直接投資（FDI）は同時期に昨年比でほぼ倍増している。堅調な輸出の伸びと FDI の増加は、貿易戦争が高まる中でベトナム経済の緩衝材となると同レポートは述べている。

VN ダイレクト証券は、今回の人民元の下落は、昨年の下落と相違はないとみている。一層の下落は貿易交渉に不透明感をもたらし、中国にも利益にならないのが理由である。

ハノイ市場では、HNX 指数は 0.48% 高の 103.54 ポイントで引けた。出来高は前日比 18.2% 増の 2,030 万株で、売買代金は同 8.2% 増の 2,400 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。